

早川平会計事務所通信

2月号 VOL. 057

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 F A X：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



いつもお世話になります。新年のあいさつをしたばかりだと思っていたらもう二月。昔から「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われますが、逃げ足の速い二月を追いかけるように時を過ごせば気持ちが焦るばかりです。改めて時間の大切さを全身で感じながらゆったりと構えて暖かい春を待ちたいものです。

【「日本初の所得税」申告額第一位は？】

我が国に所得税が導入されたのは明治二十年で、課税対象は個人所得だけでした。書籍『日本財政論』によると、高額納税者の多くは旧大名や公家などの華族で、上位には旧山口藩主の毛利元徳や旧金沢藩主の前田利嗣、旧熊本藩主の細川護久などの名前がみられます。

そのような中、申告額で第一位となったのは、三菱財閥の基礎を築いた岩崎弥太郎の長男、岩崎久弥で申告額は約70万円でした。第二位は岩崎弥之助（岩崎弥太郎の弟）で約25万円、第三位が毛利元徳の17万円台。

日本資本主義の父といわれた渋沢

栄一が10万円弱の申告額ですか

かが分かります。

そうなると当時の70万円がどれ

くらい価値があったのかを知りた

いところですが、世の中の仕組み

や人々の暮らしが異なるため正確に換算することはな

かなか難しいものがあります。また、物価や賃金水準も

年々変化しているのと同じ明治時代でも前半と後半で

は違いがあります。そのためあくまでも参考としてのお

話です。明治三十年頃の小学校の教員や警察官の初任給

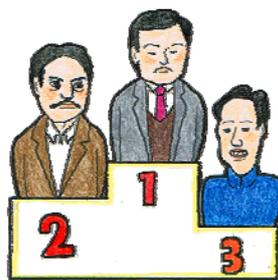
は月8〜9円くらい、一人前の大工などベテラン技術者

で月20円くらいだったようです。このようなことから

考えると当時の庶民にとつての1円は、現在の2万円く

らいの重みがあったのかもしれない。仮にこれで計算

すると当時の70万円は現在の140億円になります。



【方言を使ったアイテムがブーム！】

昨年の流行語大賞にも選ばれた岩手県北三陸地方の方言「じえじえじえ」。今、日本各地の方言を使ったアイテムが密かなブームです。『ラジオ体操第1ご当地版』は津軽弁から鹿児島弁まで10の方言によるラジオ体操が収録され、聞き流すのも楽しいと売上を伸ばしています。北海道や群馬、長崎など、郷土の出来事や生活描写をその地方の言葉で読み上げる『方言かるた』も順調です。方言の持つ素朴さや温かさに癒される一方で、地域文化の継承にも意義がありそうです。



A型	B型	O型	AB型
周囲と足並みを揃えて進むと実力が評価されやすい運勢です。責任感と行動力をフルに發揮して前進あるのみ！	今までの努力が認められる月なので人が見てない所でも精進を！対人運も良いため人脈を広げるチャンスです！	仲間との親密な関係が崩れやすいようです。気配りを忘れず連絡も密に！買い物は先のことと考えて品定めを。	石橋を叩いて渡る慎重さよりも今月は思い切った行動が吉凶を分けるでしょう。先手必勝が鍵になりそうです。

【時は「？」なり】

時間に対する考え方や習慣と年収の関係を調べた調査結果があります。年収 400 万円台の人たちと 1500 万円以上の人たちに、「人生の目的や目標を常に意識している」「仕事の目的や意味を常に考えている」「やりたいことリストを作っている」「グチを言わない」「迷ったら新しい選択肢を選ぶ」などの質問をしたところ、どの設問に対しても「当てはまる」と答えた率が高かったのは年収 1500 万円以上の人たちでした。

目的意識を高く持って常にチャレンジし、失敗してもクヨクヨしないで先に進む。つまり年収の差を生む要因のひとつは「時間」に対する考え方で、「時間」の意識が高い人ほど成功の確率が上がるのかもしれませんが。「お金と時間はどちらが大切か」というのは古くて新しい問いです。際限なく増やしたり貯めたりできて、しかも貸し借りまでできるお金に対して、増やすことも貯めることも貸し借りもできず、一度失うと二度と取り戻せない時間のほうがはるかに大切な資源だというのは、商売をしている人なら常々感じていることでしょう。しかし、「たいていの経営者は、その時間の大半を“きのう”の諸問題に費やしている」（ピーター・ドラッカー）。これが現実かもしれません。

西洋のことわざは「時は“金”なり (Time is money)」ですが、商売上手で知られる華僑の人たちは「時は“命”なり」と言うそうです。これは相手の時間に対しても同じことが言えるでしょう。

例えば商談のために1時間作ってもらうのであれば、商談相手の命の中の1時間分を分けてもらっていると考えのです。商談に15分遅れたら相手の命を15分間ムダにしたこととなります。

何の準備もなしに適当な商談をしたら、相手の命はもちろん自分の命も1時間分のムダ遣いです。

改めて時間の重要性に意識を向けてみたいですね。濃密で意義のある時間を過ごせるかどうかは、商売の成功と共に豊かな人生のためのテーマでしょう。



痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



【国のない男】

村上春樹など多くの文学者に影響を与えたアメリカを代表する作家カート・ヴォネガットの遺作。含蓄ある文章の中には愛すべき人類へ向けて贈るジョークや鋭い警鐘が詰まっています。この中に人生の道しるべを見出す人も多いようです。

